校訓
健　康
自　主
奉　仕

明和中便り

３月号　　令和４年３月 24 日発行

TEL　282-0163

～卒業式式辞（一部抜粋）～

校長　立山佳人

皆さんの中学生活は、新型コロナ感染症のため波乱万丈でしたね。１年生の後半、２年生の前半、合わせて１か月以上の休校、修学旅行の１年間の延期、３年生でも、時差登校や分散授業、部活動の制限や体育大会の延期など経験しました。

振り返ってみると、開催時期が変更になったりしましたが、新しい生活様式に沿って可能な限りの工夫や努力を続けたことで、学校行事をはじめとして、ほとんどの学校生活を実施することができました。

なぜ、簡単にあきらめずに計画を変更したりしながらも学校生活ができるように工夫をしてきたのでしょうか。それは、学校は、皆さんの「前に進もうとする意欲」を高めるところだからです。そのために、先生方は、学校生活を通して、分かる喜びやできる喜びを味わわせたり、悩みや困難を解決していこうとする力をつけられるようにしてきたのです。

皆さんが「前に進もうとする意欲」を高めるための最後の行事が、土曜日にサプライズで開催した進路・郷土学習で、俳優の「哀川翔さんの講演」でした。皆さんの質問に対して答えていただくという形でしたが、哀川さんの答えにより皆さんの「前に進もうとする意欲」が高まったことを期待しています。

実は、哀川さんに来校していただけないかお願いをした時に、次のような返事をいただいていたので皆さんに紹介します。

「コロナ禍で世の中がどのようになってくのか先が見えない状況です。しかし、確実に今の子ども達が未来を担っていかなければなりません。その子ども達のためになるのであれば、計画させていただきます。これから、どれだけ技術が進歩しても人の心に代わるものはないと思います。互いに思いやりを持って生きていけるようにしたいです。優しく生きていきましょう。～哀川翔～」

まさに、皆さんの「前に進もうとする意欲」が高まるように来ていただいたようですね。ありがたいですね。

さらに、講演では、大きな壁にぶつかったり、大きく悩んだ時に「先ずは、一歩踏み出してみることが大切。嫌なことでもやらなきゃ終わらない。やってればいつかは終わる。」というお言葉もありましたね。それでも、どうしてもその一歩が踏み出せない時にどうしたらいいか、ということを少し付け足させてください。

人は、なかなか前に進むことができない時、「ネガティブ」になってしまっています。そんな時には、「たくましい心」を身につけ、使って欲しいと思います。既に自分の力として身に付けている人もいるかと思います。

「たくましい心」とは、「強い心」ということではありません。いろいろな困難にぶつかった時に「ネガティブ」から「ポジティブ」に切り替えられるスイッチを身につけるということです。

そのスイッチとは、悩んでることを「リフレーミングする」すなわち、「見方・考え方を変えること」、それから、「自分自身を信じること」です。

この二つのどちらかができると「ネガティブ」から「ポジティブ」に切り替えるスイッチを使えたことになり、先に進むことができ、きっと成長していけます。そのスイッチを使いながら、辛いこと、楽しいことをたくさん経験して成長していく人生を歩んでほしいと思います。

そうすることで皆さんの人生が豊かになっていくはずです。皆さんなら、きっとできるはずです。

２年修学旅行（広島・福岡・熊本）

２年生は、３月８日（火）から 10 日（木）の２泊３日で修学旅行に出かけました。博多－広島間では新幹線を利用しました。広島では平和公園で平和集会を行い、平和への思いを新たにしました。原爆ドームや錦帯橋、宮島の厳島神社などの世界遺産を見学したり, グリーンランドでは友だちとの交友をより深めたり、多くのことを感じ、学んだ３日間でした。今回はコロナ禍での旅行でしたので、いつも以上に自他の「健康」について考え、石鹸での手洗いや手指消毒、黙食、ホテルの部屋の中でもマスク着用を徹底するなど、感染予防対策を万全にして臨みました。お陰様で体調不良者が一人も出ることなく、無事に充実した旅行を終えることができました。保護者の皆さん、ガイドさんや運転手さん, 旅行業者の方等, お世話になったたくさんの方々に感謝したいと思います。

第４６回卒業式

３月 15 日（火）第 46 回卒業式が行われ、90 名が明和中学校を巣立っていきました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小し（在校生は生徒会代表 19 名、来賓は５名、国歌演奏、校歌斉聴、卒業生合唱は校庭でなど）あらゆる感染防止対策を講じて実施しました。

式では在校生代表の濵﨑蒼太さんが３年生への感謝の気持ちを込めて、送辞を述べました。また、卒業生代表の平 隼摩さんは、コロナ禍で過ごした中学校生活でしたが、このような状況だからこそ、改めて気づくことができたことにふれ、家族や先生方、地域の方々、そして友達に支えられてきたことへの感謝の気持ちや在校生への想い、新たな挑戦への意気込みを答辞に込めました。

卒業生は学業、部活動、学校行事と、1,2 年生のよき手本となって学校を盛り上げてくれました。在校生は伝統を受け継ぎ、発展させ、より良い明和中学校を築いていきましょう。卒業式前日の準備への取組が大変素晴らしく、この１年間での大きな成長を感じましたので、これからの活躍に期待が持てそうです。

【 卒業証書授与 】

【 在校生送辞 】

【 卒業生答辞 】

【 校庭での卒業生合唱「いのちの歌」 】

今月の表彰 祝

【県録音アンサンブルコンテスト】　金管五重奏　優秀賞
【県図画作品展】　特選　３年　伊藤 晴真
【弓道初段取得】　２年　岩元　彩貴
【第７回スポーツタニヤマ早春中学ソフトテニス大会】第３位　２年男子

4月の主な行事

４月 ６日(水)　新任式　始業式　入学式　１年ＰＴＡ
７日(木)　身体計測　新入生歓迎会
８日(金)　１，２年標準学力検査　２，３年ＰＴＡ
ＰＴＡ学年専門部長会　ＰＴＡ学年委員会
９日(土)　土曜授業　１年標準学力検査
11 日(月)　１年知能検査　１年心臓検診
12 日(火)　ＰＴＡ学校委員会（新旧運営委員会）
13 日(水)　家庭訪問（14 日.15 日.20 日.21 日.22 日）
５月 ２日(月)　ＰＴＡ総会
14 日(土)　土曜授業　第１回 PTA リサイクル活動
小中合同ＰＴＡ歓迎会

学校電話の自動音声応答装置の導入

鹿児島市では、全ての教職員が授業準備等に十分な時間を確保しながら、ゆとりを持って生徒と接し、教育活動に専念できる環境を整えるため、教職員の働き方改革の取組の一環として、全ての市立小・中・高等学校に自動音声応答装置を導入することになりました。つきましては、本校では、下記の要領で導入しますので、御理解と御協力をお願いします。

〇導入開始日；令和４年４月１日（金）
〇自動音声装置による応答時間（原則）
・平日 ⇒ １９：００～翌日７：３０
・土曜日・日曜日・祝日等 ⇒ 終日
・土曜授業日 ⇒ １３：００から
・長期休業期間中⇒１６：４５～翌日８：１５
※　応答時間が変更になる場合もあります。

令和４年度の土曜授業は、8 月と 2,3 月を除く計 9 回実施します。